

## 「親子キャンプ」

～ササビーと遊ぼう～

### 1. 趣旨

- ①「冒険と創造の森を活用した運動プログラムの開発委員会」で開発した、「幼児期の遊びを中心とした運動プログラム」を幼児の発達段階に応じ、親子で実施する。
- ②運動遊びを実施することで、幼児期に必要なとされる多様な動きの獲得、体力・運動能力の基礎を培うとともに、全身を動かして遊ぶことの楽しさを感じてもらう。
- ③保護者は幼児教育の重要性を理解する。また、保護者同士で日頃の子育てについて自由に話し合うことを通じて、子育ての悩み等を共有し保護者同士の交流を図る。

### 2. 事業の概要

#### (1) 期日

令和元年10月19日(土)～20日(日)

#### (2) 参加者

- ①参加対象 幼児(年中、年長を含む)とその保護者 ※兄弟がいる場合も可
- ②参加人数 23名(8家族) (応募総数29名)  
群馬県前橋市9名、高崎市9名、館林市3名、東京都台東区2名

### 3. 企画運営のポイント

- ・「運動遊び」では、興味・関心を持って、繰り返し遊べるよう、段ボールで作成した場や遊具を用いた8つの場を用意する。
- ・「館内フォトラリー」では、館内及び一部周辺を撮影した写真を見て、その写真がマップ上のどこから撮ったものかを推察しながら歩く。
- ・「読み聞かせ体験会」では、講師による親子一斉と親だけの読み聞かせを行うとともに、学生ボランティアによる幼児への読み聞かせを行う。
- ・「幼児期における運動遊びの重要性」では、体力テストの結果を踏まえた子供たちの現状、発達段階の特性、生活習慣の連鎖等について話し合う。
- ・「長七郎山登山」では、親子で一緒に自然を感じながら登る。

### 4. 日程

	午前	午後	夜
10月 19日 (土)		開会式 運動遊び(雨天プログラム) 館内フォトラリー(雨天プログラム)	「絵本の読み聞かせ体験会」 講師：前橋市読み聞かせグループ連絡協議会(田子智代、青柳聡) 講義「幼児期における運動遊びの重要性」 講師：国立赤城青少年交流の家 事業推進係長 福岡公平
10月 20日 (日)	長七郎山登山	閉会式	

## 5. 主な活動内容



「けんけんば」



「ワニの川わたり」



「おやつをプレゼント」



「絵本の読み聞かせ」



「ボラによる読み聞かせ」



「長七郎山登山」

## 6. 成果と課題

### (1) 参加者アンケート結果

満足8名(100%) やや満足0名 やや不満0名 不満0名

### (2) 参加者の声

- ・体育館の中で色々な遊びができ、手作りの段ボールの品もとても良かったです。
- ・とても楽しい読み聞かせでした。幼児期の運動の大切さについて教えていただき、大変参考になりました。
- ・徐々に、規則正しい生活ができました。たくさん体を動かし、早寝、早起き、朝ごはんを心がけることができました。
- ・ボランティアスタッフの方にとっても親切にいただきました。子供たちと全力で遊んでくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・日頃、家庭では体験できないことが体験できたので、これからも参加したいです。

### (3) 成果

- ①「運動遊び」では、子供達の運動量や親子で取り組む様子。「館内フォトラリー」では、館内の様子がとてもよく分かるということからプログラムの内容は良かった。
- ②「読み聞かせ体験会」では、あたたかい雰囲気での絵本の内容が良かった。また、親子で分かれて活動を行ったのは良かった。
- ③「長七郎山登山」は、登る距離や高低差から考えても、幼児にとって丁度良かった。

### (4) 課題

- ①幼児はキャンセルがあるため、広報手段のさらなる工夫をして、参加者を増やすようにする。
- ②雨天プログラムのさらなる充実を図る。(全員で楽しめるもの等)
- ③食事の際に使う幼児用のイスや食堂レーンの高さなど、幼児用の設備・準備の充実を図る。

担当 企画指導専門職 田村 文明